

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援のびつとPUKU-PUKU（多機能型：児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年中・年長児を対象としてクラス分けしているため、同年齢の児童との交流ができる。	年中・年少児が対象ということで、就学を見据えて児童・保護者の配慮を特に意識している。	就学前の支援や準備は環境の変化もあるので、一緒に協働子育てを行いながら順応できるようにしていきたい。
2	各児童の成長や発達での気づきが、日々の申し送りや広報誌・ホームページなどを活用して伝達できている。	日々のミーティングや申し送りなどで情報共有を図り、常に児童の状況把握に努めている。	家庭や園などでの情報収集にも努めていながら、関係機関との協働子育ても強化していきたい。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスまで連携をとりながら療育支援している。 法人内での対外的なイベント開催や事業所でのイベント開催など地域とも連携をしながら実施している。	年少児から年長児、小学生クラス・中高生クラスと法人内で連携しながら移行体験なども行っている。 保護者や地域の方々に法人や事業所の事を知ってもらうことで障がい福祉の理解につながっていただけると考えます。	保護者会など年少児の保護者が年長児の様子をみながら、子育てや療育に良いイメージをもてるように取り組んでいきたい。 地域の方々にボランティアの協力など依頼しながら親睦の機会を多くもてるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の事業所や児童との関わりをもっと増やしていきたい。	法人内でも十分な交流はできているので、意識して外部との交流も図っていきたい。	年間行事に交流会を企画しながら実施していきたい。 ただ、交流するだけでなく障がい理解や連携強化にも努めていきたい。
2	職員と保護者の交流の機会をもっと増やしていきたい。	日々の申し送りでのコミュニケーションは取れているが、保護者会やイベントを通しての交流などは、保護者からも要望があるので応えていきたい。	年間行事に交流会を企画しながら実施していきたい。 ただ、交流するだけでなく障がい理解や連携強化にも努めていきたい。
3	専門的な療育支援など、どの職員も日々向上できるようにしていきたい。 実施、取り組んでいること等が職員や保護者に周知されていないことがあるので周知徹底を図りながら、協力や理解を得たい。	現状の支援に満足せず、児童・保護者・関係者の期待に応えられるようなスキルの向上に努めたい。	毎月の職員対象のOJTや職務会の実施を継続していきながら、外部への研修派遣も積極的にしていきたい。 また、外部の研修に参加した際には、事業所内での伝達研修も実施していきたい。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援のびとPUKU-PUKU		公表日		2026年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	5～6歳になると身体も大きくなり動きもダイナミックになります。その点でいうとルームが少し狭いです。	活動に合わせた空間創りを確保していきましょう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	休みが出た際のヘルプ要員が不足している。	職員の配置数は満たしていますので、職員の健康管理に留意していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	職員が使用するもの、活動で使用する文具がルーム外に保管したいが、保管する場所がない。整備が必要。	次年度の環境整備で検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		あえて掲示物を貼らず、スッキリとした空間を意識している。	今後も継続を心がけていきましょう。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個室はあるが、療育室と近いため、静かに対応したいときは不向きである。	環境整備や工夫した部屋の活用など、今後も意識しながら改善していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		なるべく全員が参加し、全員が同じ意識でできるようにしている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		把握する機会はあるが、改善が見られない、遅いことがある。	今後は早めに改善等に取り組みるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部の専門職員より、外部評価を聞き改善に努めている。	今後も継続を心がけていきましょう。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		職務会、内部研修、外微研修への参加をしている。	今後も継続を心がけていきましょう。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		5領域から考える独自のアセスメントシートを作成し、それを基に計画書作成を行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2	共有が不十分なために、共通理解ができていない。	ミーティング以外でも必要に応じて、勉強会などを設けながら共有を図りましょう。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	共有が不十分なために、共通理解ができていない。	支援の統一、情報共有の強化に努めていけるように日々のミーティングなどでも周知していきましょう。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで作ってはいるが、今後は立案会議を設けたい。	現在の活動をさらに充実させるために立案計画は良い取り組みだと考えます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		常にこどもたちが楽しんで、なおかつ療育につながるプログラムを考えている。	今後も継続を心がけていきましょう。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日行っていない。適宜行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	毎日行っていない。適宜行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録の取り方には改善が必要。	記録業務での困り感をまとめて、全体でも課題を解決できるような機会を設けていきましょう。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		保険、医療との連携はまだ行っていない。	連携の機会を図りながら、協働で支援できるような体制を構築していきましょう。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		行なっているが、相手側によっては相互理解が難しい時もある。	今後も継続を心がけていきましょう。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	まだやったことがないが、情報提供書を作成する予定。	次年度は各学校へのあいさつまわりなど計画して実施していきましょう。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	連携はしているが、スーパーバイズは受けたことがない。	情報収集していきたい。お互いの見学や情報共有の機会を作っていきましょう。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		なかなか直接会えない保護者には公式ラインで連携している。	今後も継続を心がけていきましょう。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	今後開催していきたい。	今後、外部の情報も収集しながら実施していきましょう。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		個別面談を行ったりもしている。	今後も継続を心がけていきましょう。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		季節の行事などを親子参加型にすることによって交流する機会を設けている。	今後も良い取り組みですので、さらに参加者を増やしながら交流を深めていきましょう。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		職員から報連相で受けた場合、すぐに対応できるようにしている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムやlineを活用している。	今後も有効活用しながら保護者との最適な情報交換ツールとして活用していきましょう。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	周知はできていない。マニュアルも不十分なところがある。	各種マニュアルの周知徹底を行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	策定が周知不足である。	GCPの周知徹底と、訓練の実施を行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画が周知不足である。	安全計画の周知徹底と、訓練の実施を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	共有出来ていないため、再発防止ができていない。	今後は、全体共有だけでなく、再発防止・改善につなげる会議もその都度設けていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束が必要な対象児童がいない。	今後対象児童がいれば、しっかりと説明・対応していきたい。	

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	児童発達支援のびっとPUKU-PUKU（多機能型：児童発達支援）
------	----------------------------------

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 15名

回収数 9名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1			利用人数の調整の依頼があったりするのでどちらとも思えない。	
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1		今後も心掛けて参ります。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8			1		今後も継続して参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				家でも取り入れられることを教えてくれるので助かっています。	今後も心掛けて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				子どもの成長がみられる支援計画になっていると思う。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				利用を始めた頃に比べると、怒ることも少なくなり友達と一緒に遊べる姿が多く見られるようになったことが嬉しいです。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				色々な活動の中で、子どもの視野が広がっているように思う。	今後も心掛けて参ります。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1		2	お祭りでの交流はあるが、他の保育園・子ども園との交流はないのかな？と思う。	今後も継続して参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					今後も継続して参ります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				いつも寄り添って支援計画をたてていることにありがたいです。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9					今後、機会を設けて実施して参ります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9				連絡簿への記載と、のびっとでの出来事について保育所を通して伝えられていると思う。本人が少し元気な日や不安そうなることを早く察知してくれて「何かありましたか？」と聞いてくれることがありがたい。	今後も継続して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				普段から会った時には、色々とお話してくれています。	今後も継続して参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					今後も継続して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1			お知らせで開催している事は知っているが、予定が合わず参加したことがないのでわからない。	今後、開催や声掛けして参ります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					今後も継続して参ります。
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					今後もしっかりと情報共有して参ります。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1			ホームページをあまり確認していません。配布資料で見えています。	今後も継続して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					今後しっかりと情報共有して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		2		今後しっかりと実施だけでなく情報共有して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				その日の気分によると思いますが、今日会った出来事を聞く楽しく過ごしていると思う。楽しい＝安心感のびっと大好きです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				毎日行きたいそうです。	ありがとうございます。今後も、安心安全で楽しんでいけるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				ゆっくりですが、確実に成長していると思う。ひとりひとりに合った支援をしてくださっているので満足です。	ありがとうございます。今後も満足できるような支援に心がけて参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援のびっとPUKU-PUKU（多機能型：放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		～ 2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校低学年の児童を対象としてクラス分けしているため、同年齢の児童との交流ができる。	小学校低学年の児童が対象ということで、10歳の壁を見据えて児童・保護者の配慮を特に意識している。	10歳の壁や学年の進級などの支援や準備は環境の変化もあるので、一緒に協働子育てを行いながら順応できるようにしていきたい。
2	各児童の成長や発達での気づきが、日々の申し送りや広報誌・ホームページなどを活用して伝達できている。	日々のミーティングや申し送りなどで情報共有を図り、常に児童の状況把握に努めている。	家庭や小学校などでの情報収集にも努めていながら、関係機関との協働子育ても強化していきたい。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスまで連携をとりながら療育支援している。 法人内での対外的なイベント開催や事業所でのイベント開催など地域とも連携をしながら実施している。	年少児から年長児、小学生クラス・中学生クラスと法人内で連携しながら移行体験なども行っている。 保護者や地域の方々に法人や事業所の事を知ってもらうことで障がい福祉の理解につながっていただけると考えます。	保護者会など年少児の保護者が年長児の様子をみながら、子育てや療育に良いイメージをもてるように取り組んでいきたい。 地域の方々にボランティアの協力など依頼しながら親睦の機会を多くもてるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の事業所や児童との関わりをもっと増やしていきたい。	法人内でも十分な交流はできているので、意識して外部との交流も図っていきたい。	年間行事に交流会を企画しながら実施していきたい。 ただ、交流するだけでなく障がい理解や連携強化にも努めていきたい。
2	職員と保護者の交流の機会をもっと増やしていきたい。	日々の申し送りでのコミュニケーションは取れているが、保護者会やイベントを通しての交流などは、保護者からも要望があるので応えていきたい。	年間行事に交流会を企画しながら実施していきたい。 ただ、交流するだけでなく障がい理解や連携強化にも努めていきたい。
3	専門的な療育支援など、どの職員も日々向上できるようにしていきたい。 実施、取り組んでいること等が職員や保護者に周知されていないことがあるので周知徹底を図りながら、協力や理解を得たい。	現状の支援に満足せず、児童・保護者・関係者の期待に応えられるようなスキルの向上に努めたい。	毎月の職員対象のOJTや職務会の実施を継続していきながら、外部への研修派遣も積極的に行っていきたい。 また、外部の研修に参加した際には、事業所内での伝達研修も実施していきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援のびととPUKU-PUKU (多機能型：放課後等デイサービス)		公表日		2026年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	小学生になると身体も大きくなり動きもダイナミックになります。その点でいうとルームが少し狭いです。	活動に合わせた空間創りを確保していきましょう。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	休みが出た際のヘルプ要員が不足している。	職員の配置数は満たしていますので、職員の健康管理に留意していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	職員が使用するもの、活動で使用する文具がルーム外に保管したいが、保管する場所がない。整備が必要。	次年度の環境整備で検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		あえて掲示物を貼らず、スッキリとした空間を意識している。	今後も継続を心がけていきましょう。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個室はあるが、療育室と近いため、静かに対応したいときは不向きである。	環境整備や工夫した部屋の活用など、今後も意識しながら改善していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		なるべく全員が参加し、全員が同じ意識でできるようにしている。	今後も継続を心がけていきましょう。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		把握する機会はあるが、改善が見られない、遅いことがある。	今後は早めに改善等に取り組みるようにしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部の専門職員より、外部評価を聞き改善に努めている。	今後も継続を心がけていきましょう。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		職務会、内部研修、外微研修への参加をしている。	今後も継続を心がけていきましょう。	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		5領域から考える独自のアセスメントシートを作成し、それを基に計画書作成を行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2	共有が不十分なために、共通理解ができていない。	ミーティング以外でも必要に応じて、勉強会などを設けながら共有を図りましょう。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	共有が不十分なために、共通理解ができていない。	支援の統一、情報共有の強化に努めているように日々のミーティングなどでも周知していきましょう。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで作ってはいるが、今後は立案会議を設けたい。	現在の活動をさらに充実させるために立案計画は良い取り組みだと考えます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		常にこどもたちが楽しんで、なおかつ療育につながるプログラムを考えている。	今後も継続を心がけていきましょう。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日行っていない。適宜行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	毎日行っていない。適宜行っている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		記録の取り方には改善が必要。	記録業務での困り感をまとめて、全体でも課題を解決できるような機会を設けていきましょう。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	今後開催していきたい。	今後、外部の情報も収集しながら実施していきましょう。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		個別面談を行ったりもしている。	今後も継続を心がけていきましょう。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		季節の行事などを親子参加型にすることによって交流する機会を設けている。	今後も良い取り組みですので、さらに参加者を増やしながら交流を深めていきましょう。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		職員から報連相で受けた場合、すぐに対応できるようにしている。	今後も継続を心がけていきましょう。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムやlineを活用している。	今後も有効活用しながら保護者との最適な情報交換ツールとして活用していきましょう。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	周知はできていない。マニュアルも不十分なところがある。	各種マニュアルの周知徹底を行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	策定が周知不足である。	GCPの周知徹底と、訓練の実施を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画が周知不足である。	安全計画の周知徹底と、訓練の実施を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	共有出来ていないため、再発防止ができていない。	今後は、全体共有だけでなく、再発防止・改善につなげる会議もその都度設けていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束が必要な対象児童がいない。	今後対象児童がいれば、しっかりと説明・対応していきたい。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援のびととPUKU-PUKU (多機能型：放課後等デイサービス)

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数 8名

回収数 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					